

——〈次号予告〉—— 〈BRAIN and NERVE 第64巻・第5号〉——

特集テーマ 神経疾患のバイオマーカー

アルツハイマー病のバイオマーカー — ADNI 以後 …………… 弘前大学脳神経内科学 東海林幹夫
レヴィ小体型認知症の脳脊髄液・血液バイオマーカー

……………カリフォルニア大学サンディエゴ校神経科学科 春日健作, 他
筋萎縮性側索硬化症のバイオマーカー……………京都府立医科大学分子脳病態解析学 徳田隆彦
視神経脊髄炎のバイオマーカー……………東北大学医学部多発性硬化症治療学・神経内科 三須建郎, 他
グリオーマのバイオマーカー……………杏林大学医学部脳神経外科学 永根基雄

総説

インプリティグ（刷込み記憶）の神経科学……………北里大学一般教育部 浜崎浩子
家族性脳腫瘍の基礎と臨床……………横須賀市立市民病院脳神経外科 菅野 洋
RNA editing 活性低下と TDP-43 病理

—— 孤発性 ALS 運動ニューロンにおける疾患特異的両分子異常の分子連関 ……東京大学医学部神経内科 郭 伸

原著

難治てんかんに対する迷走神経刺激療法導入 1 年後の状況

—— 九州労災病院と全国における状況 ……………九州労災病院脳神経外科 森岡隆人, 他

Neurological CPC

臨床的にレヴィ小体型認知症が疑われ、 α シヌクレイン沈着を認めなかった 87 歳女性例

……………中野総合病院神経内科 融 衆太, 他

学会印象記

15th International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders ……徳島大学神経内科 宮本亮介

連載

神経学を作った 100 冊 (65)……………日本赤十字社医療センター神経内科 作田 学
(編集頁などの都合により掲載論文が若干変更になることがあります。編集室)